反樞軸軍へ損害
緬印中部境で前哨戰

敵側發表

【イスタンブール一日同盟】ニューデリー來電＝東南アジヤ司令部は一日の公報において左の如く發表した　緬印國境戰線中部地區のチディム地區で、反樞軸軍は日本軍哨戒部隊と接觸、損害を生じた

新輸血路も望み薄
フーコン地區　苦力代りの重慶軍

【リスボン二日同盟】印度駐屯英軍はアメリカ軍の手先に踊りビルマ公路に代る新輸血路の建設に苦力代りに使役され、北部ビルマに進出するフーコン地帶に企圖しては鐵壁の防衛陣を布く皇軍にその出鼻を叩かれてゐるが、駐印支アメリカ軍司令官スチルウエルは、一日皇軍の頑強な反撃を認めると共に同方面の作戰の困難を指摘、次の如く語つた

フーコン溪谷の重慶軍はビルマ北部へ進出を企てゐるが、新ルートの建設を阻止せんとする日本軍は熾烈な反撃に出てをり、日本軍は極めて頑强である、重慶軍は作戰に從事する一方、新ルートの構築を進めてゐるが、この公路建設は極めて困難な工事で、その完備が將來の戰局如何によつて決定されるであらう

カビエンに戰火熾烈
機銃で屠る飛行艇
敵襲に士氣愈々軒昂

【南太平洋○○基地にて鷲尾海軍報道班員同盟】ラバウルが南太平洋方面の表玄關ならカビエンは裏玄關である、その重要なニューアイルランドのわが要衝を目指して敵の反撃は今や熾烈の度を加へてゐる、昨年十二月末の來襲にまづ大々的な攻勢を見せ、今年に入つてからは元日の自爆來襲そのゝち二日、三日、四日と敵襲がつゞいてゐる、かくてわが上陸以來約二年、殆んど敵襲もなく極彩色の繪葉書のやうに美しい風光を誇つた珊瑚とレモンと螢の靜かな都カビエンも今や敵襲に備へて逞しく武裝し熾烈な戰火の渦中に敢然として起上つてゐる、以下は最近のカビエン通信である

珊瑚礁の白い道、それをトンネルのやうに蔽つた合歡木の巨木や「森の都」の並木道、赤瓦の家々の庭には極樂樹の白い花、パパイヤやレモンの香りもほのかに波打際は東海道興津の鎖繪を思はせ明眉な風光、カビエンはラバウルとは凡そ趣きを異にして空氣もあくまで澄み、生水も飮める、空襲でもなければ本當に浮世を離れた靜かな南國の夢の都である、殊に夜を彩る螢の美しさは天下の名物であらう、鬱蒼と繁つた合歡木の木の巨木に何千といふ多くの螢が群棲してきらくまぶしい光を放つ、ここの螢はほとんど飛ばないで何時までも樹陰に宿りまるで大木にからんだ無數の豆電球のやうに明滅する、幾ら眺めても厭きない風物である、螢のほかここでは珊瑚を產し、レモンが實り對岸の島の向うでは鱶が澤山取れる、海にはまた鰐が住み陸地の豚を狙つて來るところをカナカボーイが巧に捕へて各部隊の人達の食膳を賑はしたこともある

この靜かな町に最近は防空壕がどんく掘られリーフの岡や飛行場その他要所々々に探照燈、高角砲の防禦陣地が築かれ どんく數を增して行く陸海軍の兵隊さんがここでもラバウルと同じやうに規律正しく町々を往き來してゐる珊瑚礁の道路には慌しく國産の軍用車が走つてゐる、敵は去年の十月、十一月頃は僅か一機か二機で……

米穀供出狀況 視察座談會 【下】

岸糧政課長　次に買上の方法若くは共販場所、檢査とか代金支拂の關係或は米倉と金融等の關係、さういふ共販の方法について……

金（承）　買上現場には農會と面職員と米倉と金融と檢査員と五種類の人間が出てゐるが、何處に行つて訊いてみても米の買上に農會と金融組合とがしつかりしてをればよいといふ、何しろ農會は農業技術が本職で算盤の方はどうもうまく行かないので色々手違ひが出來るので困るから、檢算は是非金組でやつて貰ふやう本府に話してくれといふことであつた、農會側の言分としては天引貯金の記入まで自分達がしてゐる、金組は當然檢算位してくれたら非常に具合がよいと言つてゐる、一般の要望としては檢査は必要ではないとは言はないが、今は何よりも數の時であるから少し檢査に手心を加へる必要があるのではないかと思ふ

阪本　傳票の傷みを非常に訴へてゐる、紙が惡いし複寫紙を三枚入れて書くといふ關係で一番最初は一枚傳票を切るのに五分かゝつた、これは如何に修練を積んでも二分半以上に早くは出來ない、農民が五百人、六百人になると傳票を一日では書けない、徹夜しても間に合はないといふ狀態になるといふ話である

岸糧政課長　今度から都度が變つて傳票も非常に複雜になり、また原則として郡農會が全部傳票書きをやる、今まで一部地方では金融組合のやつてをつたことを郡農會が代つてやることになつて、不馴れな所にもつて來て面倒なので困つてゐる、來年は記帳についても出來るだけ簡單にしたい

阪本　傳票の紙なんかももう少し研究する餘地があると思ふ

横尾　傳票問題で私の聞いたところでは、四枚紙がありまして……

その傳票の配給が非常におくれたので普通の紙を使つてやつたところが、紙が惡いため三枚までしか複寫が取れない、後の一枚はもう一遍書直さなければならん、結局一項に手間がかゝる譯だ、米の買上は補給金もあるし値上もあつたからいゝが、問題は雜穀だ、粟は一叺一圓四十二錢位で共販に取られる、この內譯は人夫賃とか叺の繩代とか手數料とかその他のものであつて實際農民の手に入るのは昨年より減つてゐるといふ事だ

岸糧政課長　指定買付人の制度は今でも已むを得ず認めてゐる關係上未檢査品に就ては或はさういふことがあるかも知れない、この指定買付人といふ者を無くし生產者より直接買取るといふ方法を理想とするが現狀では指定買付人を使はなくては物が集まらんので已むを得ず買付人の制度を認めてゐる、指定買付人が買付ける場合は見込み品になる、さういふ場合等は今のお話のやうなものを見込んでおかないと檢査の場合に當の價格がつけられない……

秋耕と取組む農村
農民小規模土改を歡迎

……

『日鮮同祖論』の描く波紋（上）
―大東亞の中核體的意義―

飯澤章治

過般多年朝鮮文化に對して研鑽を重ねて來た金澤庄三郞博士を中心とした意義ある集りが行はれた、人も知る如く金澤博士は獨り朝鮮語のみならず東洋言語學の權威として自他ともに認むる所であつて曾て十四、五年前に『日鮮同祖論』を世に送つたがその後長く顧られずに終つた、偶々小磯閣下が總督として赴任され日鮮の文化を中心とする精神的方面から涙と温情を以つてする統治方針を執られてゐるところから、この時期に日鮮が同根同祖であるといふ權威ある文獻を世に紹介したいといふ半島の一青年書房主が色々物色した結果再び金澤博士の『日鮮同祖論』を取上げ再版した、この結果は非常に各方面にいゝ影響を與へたのである

この青年は半島出身の東山……君といひ丹下醫務局長から話があつて秋尾本社編輯局長の紹介で私の許に來た青年で、話を聞いてゐると實に眞面目な青年である、私は出版の事に關しては手を染めたことはなくとも多少の意見もあるので幾回訪れて來た東山君になにかと註文をつけてゐたものである

その東山君が『日鮮同祖論』を世に送つて好評を得たとから、何か金澤先生を慰める方法もがなといつて來たので

『ありふれた出版祝賀會もをかしいが、記念の集りでもして朝鮮に關心を持つて居られる人々に集つて貰つてお話を聽いたならば』

と話して置いた所が其後同君は關屋貞三郞氏等を發起人として金澤博士の慰勞會を開くに當つて新聞關係方面への紹介を賴んで來た、自分はこの會合の趣旨を聞いて朝日新聞の鈴木文史朗さん、毎日新聞の阿部賢一さん、讀賣の高橋雄豺さんを紹介してやつた

×　×　×

その後暫くして帝國ホテルで金澤博士の慰勞會が開かれたのであるが、自分は今迄隨分色々の會合に顏を出したことがあるが、こんなにも和やかで俗氣がなく且つ有益な會合に出席したことはなかつたと非常に嬉しく感じた、同席された阿部、高橋の兩先輩も

『かうした慾も俗氣もない面白い會合といふものははめつたにない、かういふ會合なら度々招いて貰ひたいネ』

と私に囁つた程であるから一人自分のみの感じでなかつた筈はたしかだ

この席には當の金澤博士は勿論だが姉崎博士、幣原博士、中山博士、金田一博士といつた學者を初め、有吉忠一、丸山鶴吉、關屋貞三郞、加藤武雄といつた朝鮮に關係をもつ人々約四十名が參集した

×　×　×

會場の一隅には博士所有の滿、鮮、蒙の國語を英、佛、獨の學者、宣敎師等が自國語に飜譯した稀覯書を展覽に供してある、自分の如く東洋言語學の玄關も覗いて見た事のないものには何も判らないが、その國の事情を知る爲に何百年も昔に西洋の學者、宣敎師等が皆自國語に判り易く飜譯してゐるその努力には張目せざるを得なかつたのである

凡そ一國の事情を知る爲にはその國の言葉を充分知り、この國語の力によつて歷史、文物を探るといふのが常識で、しかも之を完全に自國語に直して入門に易からしむるといふ事は、帝國主義的野心とか、領土的野心を持つ持たないに拘らず絕對に必要なとはいふまでもない、東亞共榮圈を確立する上においても、その民族の有つ國語を充分知るといふことが施政の上に必要不可缺の問題で占領地に直ちに日本語を持つて行くといふ短兵急のやり方は決していゝ結果を生まないのではないかといふ感を抱かざるを得なかつた

×　×　×

些か横道に外れたが、かうした入手困難な文獻を蒐集して研究に……

半島に望む　誌上登場

賴母し半島の資源と勞務

衆議院議員　小笠原三九郎

半島が特に大東亞戰爭以來、軍需原料の供出、或は勞務の供出、又は食糧の增產等を通じて非常に重要なる役割を勤めて來たとは感謝に堪へない所である、戰が益々深刻になるに連れて半島に課せられる使命も亦愈々重大となつて來た、半島民二千五百萬の一層の御奮闘を願ふ次第である

半島の寄せる努力に感謝しつゝ、私は何時も今日大東亞戰爭完遂に示してゐる半島の絕對なるあの昭和十四年の大旱魃のことを思ひ出す、僅少二千數百萬石の米しか穫れなかつたあの年を粒々辛苦、官民擧げて一體となり、それこそ涙ぐましいまでの精進を續けて、凡ゆる諸困難を克服したあの努力と不撓不屈の精神力、この何ものにも撓まざる精神力の基礎があつてこそ、…多難なる勞務人員がある、これを擧げて戰列に寄與があると思ふのである、さうしてこの決戰に臨んで半島があの底力を以て必ずや全能力を發揮してくれることを確信するものである

洵に半島の使命は重い、鐵がある、石炭がある、無煙炭が出る、その他數々の重要資源の埋藏がある、これを擧げて大東亞戰爭完遂へ……

地帶や海中に爆彈を落しわが防禦砲火に追ひ捲くられて逃げて行く

現地將兵の士氣は弱が上にも昂まつてをりついこの間などわが一飛行艇が機銃で見事に敵のＰ・Ｂ・Ｙ飛行艇を撃墜落下傘で降りた乘組員を警備員が捕虜にするといふ大手柄を擧げたし、九日の百六機來襲の際にはそのうち二十四機を撃墜した、また今年に入つてから附近に航行中のわが驅逐艦一隻に八十機の敵がたかつて銃爆撃を加へるといふ物凄い戰闘が行はれたがわが驅逐艦は艦上防禦砲火と協力して對空砲火を浴せながらよく闘ひ敵を退散せしめた、この時わが驅逐艦の艦長は兩脚を射たれ重傷の身でありながら最後まで艦橋にあつて指揮をとり艦の危急を救ふといふ殊勳を擧げた『飛行機がもつとあれば』これは現地將兵の願であるが勇士達はそれを口にも出さず一機を一彈を百パーセントに活用して敵の大部隊に對抗してよく一對十の戰ひを戰ひ拔いてゐるのである、皇軍なればこそその賴母しさ、逞しさ、强さは驅逐艦長の感激の話題とともに今カビエンの町に漲つてゐる

食糧の職域別配給は考慮
坑夫賃金引上一月に遡及實施

【東京電話】岸國務相は一日の衆議院石炭配給統制法案委員會で木下義介氏（民政）の石炭增產に關する質問に對し賃銀の引上げと食糧の點に關し左の如く答辯した

一、賃銀引上　坑內勞務が地上の他產業の賃銀と均衡を得てゐないので早急に改善するため本年度追加豫算及び……豫算に相當額を計上中に國家より補給……して石炭山の地下……額改正を實施す……

二、食糧の職域別……細な消費組合の……この場合配給の……者に特をしめる……で落ちる餘地……民生活の調整……に配給を變へ……が起るので一……の餘地がある

精密機械……機構を簡素化……

時事小解

ソ聯の憲法修正

◇…第十回ソ聯最高會議は各共和國に國防、外交の權限を賦與する案を承認、モロトフ外務人民委員は一日夜ラジオを通じ十六共和國が單獨で外國と外交關係を結び得ることゝなつたと發表し、スターリン憲法（昭和十一年改定）の根本的修正として各方面、特に米英側の反響を捲き起した模樣である

◇…スターリン憲法によればソビエート聯邦の最高機關は即ち廿八日以來開催されてゐる最高會議（聯邦會議と民族會議に分つ）を指し、この會議で幹部會及び人民委員會を選出する、幹部會は最高會議の閉會中、これを代行するもので、その議長（現在カリーニン）は大統領に相當し、人民委員會は內閣に當るもので議長（即ちスターリン）議長代理（モロトフ以下十四名）人民委員はそれぞれ首相、副首相、大臣に相當する

◇…議長代理の十四名も多數であるが人民委員に至つては最近新設の不明なものを除いても四十二名に上るのであつて、その內外務、國防等廿六を除いた十六人民委員會は各共和國にも設置されてあつたのである、即ち今回それに二を加へて各共和國人民委員部となるのであるが、それが『外務』と『國防』ものなのである

◇…ところでモロトフは『十六共和國』と言つたが、その中の『十一共和國』は第二次歐洲大戰前からあつたもの、他の『五共和國』とは即ち開戰後併合、且大半を再び喪失したバルト三國（エストニヤ、ラトビヤ、リトアニヤ）、フィンランド領、ルーマニヤ領……

×　×

朝鮮纖維商統制委員會設立

配給統制機關であつた朝鮮纖維商統制委員會を設立、一月廿一日纖維……

賃銀を統制か
産業、地域別に

【東京電話】軍需生産の增强上職域統制令の運用については職力任ある運用を實施してゐるが、厚生省方面では賃銀統制の完璧を期するため目下根本的對策を考究中である……

血戰錄

女子は徴用しないのに職が早合點して『女子も徴用される』といひふらした不屆者があるそのデマに乘つてか、この頃頻と年少女子の結婚が流行してゐるといふ▲さうした事態を……

十二月小賣物價指數

訂正　廿九日朝刊『議場より半島に望む』の記事中『靑山水產會長』とあるは『會長』の誤につき訂正

諄々說く神籬精神

小磯總裁　報道挺身隊員を激勵

晴れの壯行會

新なる氣魄をもつて、ひとしほ意義深く迎へる決戰第三年目の紀元節の佳き日を期して全鮮各層面の總力を完勝の一點に凝集して敢行する米英擊滅國民總決起大會に國民總力聯盟が派遣する報道特別挺身隊員百四十二名の壯行會は三日午後一時半から府民館中講堂で小磯總裁臨席の下に擧行、主催者側から總長以下幹部全員出席、挺身隊の腕章をつけた隊員も昨日からの錬成に一層緊張の面持ちで參集、先づ國民儀禮についで小磯總裁は二時間の長きに亘り半島二千五百萬の總蹶起を促すべく挺身しようとする隊員を前に蹶起の本質をなす原動力ともなる『自己本質の把握』『戰局の現段階と半島の負荷する使命』を明確に剔抉、地方に行き食糧增產戰士に或は鑛山戰士に說くこれら報道挺身隊を通じ腹中の一端をも滲透せしめんとする總督の熱言は一言一句にも限りない熱を帶び、聽く隊員もまた眞劍な眼差しを注ぎ、一言も聽き逃すまじき眞摯さが場內に溢れた、『先づ自己の本質を知つて然る後一億蹶起に挺身しなければならない』と題目を授けた總督は日本書紀の一節から內鮮同祖同根の明瞭なる事實を解明『半島二千五百萬の祖先は素盞嗚尊に歸一するといつても敢へてはばからない』と目指す第一點を指摘『日韓併合は明治御代に行はれたが、これはとりもなほさず大國主命の神代に行はれた國讓りの儀である』と說き更に『これが私の朝鮮に臉を奉ずる者の自らの本質を知れと云ふ所以であり、この本質を體得し得るとすれば一億總力結集は自らなる歸結として具現することを確信する、數年來內鮮一體を叫ばざるを得なかつたのは寧ろ歎かはしい、韓國併合以來卅數年、その間半島は目覺ましい發展を遂げたが、いひ過ぎの嫌みもあるが併合當初からこれを把握したとすれば卅餘年間はもつと輝かしい過程を踏んだのではないかと思ふ、既に內鮮同祖同根であり素盞嗚尊が半島二千五百萬の祖先だとすれば天照大神の御下しなされた御神勅は即ち素盞嗚尊がお下しになつたと考へてもよい譯で從順從ひであらせられた素盞嗚尊は天照大神の理念精神をそのまま體得したと思ふ、われらもまた、これを體得せねばならないがその中でも先づもつて要だに忘れてはならないことは神籬磐境の神勅である

報道挺身隊員に訓示する小磯總裁

以下神籬磐境の御神勅に關し語つたことを復誦させてからひませう』と讀述する總督は神勅に含まれた精神、哲理に深い探求心を差し延し神籬精神に秘められた君臣一體、君民一體、君國一體の理念を導き出し、哲學でいふ我國一體の神籬精神を實踐に移すために更に高皇產靈、神皇產靈、生魂、足魂、玉留魂、大宮賣、御食津神、事代主の八神殿の哲理に及び一つ一つに包含された深淵なる哲理から『國家、國土で一番重要なものは精神である、文化形成の中心をなすものは精神であり、神化した物質との調和をもつて初めて物は完成されてゆく』と述べ、更に語を續いで『これは理窟つぽく申上げたかのやうではあるが、このやうな哲理を肚にしつかり收めて、個人も團體もこれを基にして進まねばならないことを敎へたものである、神勅に立脚して盛らに進んでこそ初めて一億總力結集は成し遂げられる』と隊員の一人々々に強く神籬精神を說じて進まねばならないことを論すのであつた、次いで他の二大神勅を解明、殊に鏡に含蓄された限りない抱擁をもつた精神は一同に強い感銘を與へた

こゝで言葉を轉じ戰局の現段階に及び『精戰の戰略、物力の擴充確保につぐ決戰第三年目は來るべき攻勢に備へる準備期であり今日までは物を戰力化せしめることに全力を振り向けて來た、日本の經濟建設は日と共に增大してゆき日本に時間の餘裕を與へることは米英にとつてはさながら追ひこまれるやうなもので、昨年以來の總反攻となつて現れた、玉碎しつつも敵の進出を防ぐといふ苛烈なる戰ひとなつた、我々銃後は爆彈の洗禮をも受けずに寧してゐるが我々銃後のこれに應へるものはなんといつても戰力の蓄積である、防禦は勝つ手段ではない』と千軍萬馬を叱咤した將軍に立ち還つたかのやうな總督は戰ひを勝利に導くためには攻勢に出なければならず、南方の作戰に未だ日本の艦隊が出陣しないことは未だ攻勢に出ないことを意味する、だが近く日本が攻勢に出ることは疑はないと、力強い豫測を下し『斷じて勝つといふ決勝意識に燃えなければならない、總ては氣魄であるが、氣魄は三神勅の精神から出て、この精神は世界の何處に行つてもこれに及ぶものはない、戰さに勝つ要素は精神力、人力、物力である、精神には米英の精神の結集力の及ぶところでなく皇軍の傳統的精強があり屈るは資源だけで、ついて考へるに朝鮮問題に對する內地の認識を嘆かはしく考へたが、近來內地の對半島認識に朝鮮における期待は鐵、石炭、化學工業…ところが、この半島が決戰氣運に缺ければなんこゝに總力を結集して生產增強に努力せねば…の挺身となつた譯であると、こゝで行く先で…る生產責任制に關し觸れ『物の生產に責任制と…糧增產に關しては地主にもう少し責任をもつ…を持たせれば地主も働いてくれるだらうし…

北支に敢闘する半島同胞（上）

【北京にて木村特派員發】遠く郷里を離れて華北、蒙疆で大東亞共榮圈建設のために挺身してゐる半島同胞の數は約八萬人といはれてをり、緊迫ある徵兵制實施を間近にして皇民としての鍊成が續けられんとしてゐる、名實ともに大東亞圈內の指導者としての資格は興亞總會の一翼たる華北半島人協會とその下部組織である各地の協和會が內鮮一體の精神を基調として在住半島人の資質向上に獻身の努力を續けてゐる、以下現地における半島同胞の活躍狀況の報告である

北京の巻

昨年六月戶口調査を行つた結果によるとわが半島同胞の在住者は華北五萬八千九百四十五人、蒙疆三千百卅一人となつてゐるが實際は八萬を超える見込みである、職業別にみると會社員、土木關係者が一番多く、通譯として第一線で活躍してゐる者も澤山あり、その他は商業に從事してゐる、華北當局の惱みであり、半島全體の不名譽である阿片密賣を業とする所謂不正業者は殆ど

北京、天津、青島、石門、太原、張家口に派遣されてゐる總督府官吏の涙ぐましい指導によつて華北の惡評を拂拭すべく種々の施策が實行されてゐる、半島人指導機關として昭和十六年當時の北京派遣員の白石光治郎氏（現京城府尹）によつて華北半島人協會が設立され、その傘下に華北、蒙疆四十部…

市にある協和會を取めてゐる、北京協和會は華北の中心地にある關係上もあつて、その機構も整備し最近新に部制を設けて、總務、厚生、勤勞、文化の四部制にした、役員も從來四名であつたのを三名增員して代表理事以下七名の人員

半島出身者だと言はれてゐるが

が會務の運營に當つてゐるが新理事には卅代の若い人を起用して溌剌たる空氣を注入してゐる、北京には約一萬三千人の半島人が在住してゐて獨立の生計を營む者は全部會員になることになつてゐるから會員數は一番多い、不正業者を正業に就かせる方策はいろいろ講じ三ケ所に農村を創立させた大規模な施設を行つてゐるが北京での特殊な轉業施策として注目されるものに大東商工會社の設立がある

この會社は在住半島人九十七名の出資になる資本金百萬圓のもので、事業はガラ紡と稱する再製紡績であるが操業の曉には二千名の從業員を使用する計畫の

下に目下建設工事を進めてゐる

採用方針も出資者の家族を優先的に採り、生活の安定を與へることになつてゐる、その他第一線に任ずる半島人に正業を與へる方法として大使館行政第二課の發案で華北金融同收組合の設立計畫が進められ、近く事業開始の段取りになつてゐる、この組合は第一線に居る半島人が華人邦人から金融類を買取つて北京にある組合に納める仕組になつてゐて將來は百萬圓程度の株式

組織にする筈で、この事業は戰力增強に寄與する意味で期待され派遣員の淺原書記官も非常な熱の入れ方であつた

隊員

は二百卅名の

隊員がゐる、訓練期間は六ケ月で訓練日は毎月曜日午後一時から三時間行ふが現在の隊員は第二回生で昨年十一月から始つてゐる、訓練は青年學校教練と大體同じやうなもので學科は修身、國語を一時間教練二時間となつてゐるが一月下旬から銃劍術を受けてゐる、出席率も、父兄、雇主の理解の下に非常に好成績を擧げてゐる、訓練上

幼兒も國語を常用

壯丁は晴のお召へ準備訓練

は大使館の綿密な計畫の下に各地に協和壯丁訓練隊が設立されてゐる、全華北、蒙疆にゐる半島人適齡者は〇〇名であるが人數の都合上、十七歲以上廿三歲までの者を加へ北京に

學校を出た十七歲未滿の者は內地人と同じく青年學校に入學させてゐるが華北では『朝鮮人』と呼ぶことはなく

內鮮

人を引つくるめて邦人と呼んでゐるし、邦人のみの配給十一種類の生活必需品も區別なく同一配給を受けてゐる、內鮮共學を實施してゐる關係上國民學校へ入

朝鮮と選ぶことは殆ど全部が國民學校を卒業してゐるから北京など國語教育の必要がない位だといふ、又これ等の若人は健全な思想をもち、將來社會人として起つた際には、現在受けてゐる不正業云々の惡評を一掃するだらうと指導階級の人々も青年指導を樂しみにしてゐる、華北半島人は北京を除いては全部內鮮共學で、北京市でも今年四月から內城は共學を實施することになつてゐる、また國民學して國語が判らんと不…各地に協和會又は國民學…

猛吹雪を御征服

李王垠殿下

低溫科學研究所を御視察

【札幌電話】北海の大吹雪と骨を刺す酷寒と戰ひつつ決戰に勝つため、海拔千三百餘メートルのニセコ山々頂に立籠つて日夜飛行機の着氷狀況その他について研究してゐる北大低溫科學研究所ニセコ觀測所御視察のため御來道あらせられた李王垠殿下には一月三十日午後零時四十分昆布驛御着、同夜は御旅館青山溫泉に御一泊の上三十一日は午前七時同溫泉御發スキーに召されてニセコ山の家に御到着御一泊、一日は午前七時五分同所御發山腹の中間觀測所に於てスキーをアイゼンに御取替への上、折柄の猛吹雪と寒氣を御征服あらせられつつ同十時三十分山頂觀測所に御到着、同所にて中谷宇吉郎博士より言上する研究內容につき種々御聽取遊ばされ、所員に對して有難き御言葉を賜り、御晝食の御後觀測所御發、御歸還の途に就かせられた、かくて殿下には二日午後七時卅三分函館御着、湯川松の家に御一泊、三日朝官民多數の奉送裡に御退道遊ばされた

聖地へ感謝の參拜

聯盟が入營學徒の母姉を派遣

半島人學徒は征つた、來る廿日父に母に兄に姉にそして愛國班の人人の歡呼の聲に送られ、光榮ある營門を潛り皇軍の一員として米英擊滅の戰列に馳せ參じたのだ、國民總力朝鮮聯盟はさら陸軍特別志願者臨時採用令により合格入營した學兵の母、妻、姉妹に悠久なる皇國の大理想と崇高なる日本精神を體得せしむると共に入營感謝參拜及び都市、農村で敢鬪する內地女性の眞摯なる姿をみせ軍國女性の資質向上を圖り學兵の母であり妻であり姉妹であるといつても恥しくない女性に向上させるため全鮮の入營學徒の母、妻、姉妹を選拔し三月一日から廿五日迄三班に分け聖地參拜を行ふことになつた

選拔の標準は入營した學徒の母、妻、姉妹で聖地を參拜又は視察したことのない者で身體强健にして長途の旅に堪へ、國語を常用する者である、團員は總員九十名、第一班は慶南（五名）慶北（三名）全北（五名）全南（六名）忠北（六名）忠南（六名）計卅一名として、三月一日から同十二日までの日程である、第二班は咸南（十二名）平南（八名）平北（十名）計卅名で三月八日から同十九日までの日程、第三班は京畿（十四名）黃海（七名）江原（三名）咸北（五名）計廿九名で三月十四日から同廿五日までの日程であるが、參拜及び參拜の箇所は宮城、明治神宮、靖國神社、伊勢神宮、橿原神宮で視察の箇所は東京、山田、奈良、京都、埼玉縣で…費、宿泊料、食費…聯盟から支給する…てある、集合日時と…班は三月一日午後…道廳、第二班は三月…時京城府朝鮮聯盟事務…は三月十四日午後…朝鮮聯盟事務局である

ボルネオの貯蓄戰

【バンジエルマシン同盟】…設の進展に伴ひ激增す…の回收を一層徹底せし…の貯蓄運動を强化し、一二月末に至る一ケ年間の貯蓄目標額を五百萬ギルダーと決定、邦人初め原住民一體となり全力を擧げて目標額の達成に邁進することになつた、目標額達成のため邦人一人につき內地送金も合せて平均百三十ギルダー以上、原住民は部落各職域、各種團體等の單位毎に貯蓄組合を結成させ、工場、作業場等では一人一ケ月平均一日分の給料を、又部落、團體等では大體一ケ月十セント以上の貯蓄を行はしめることになつた

メガネは村木

ゲレドの震災

犧牲者五千名

【リスボン三日同盟】イスタンブール來電＝一日夜のゲレド地方における大地震の犧牲者は五千名に達した

誓ひは固き白襷

その名も雄々し增產決死隊

飛行機を一台でも多く造れ、油を一滴でも餘計に送れ、これは前線勇士の血涙の叫びだ、ラバウルの爆音、マーシャルの轟音は今日も耳朶を打つ『よしツ、一滴でも多く油を作つて勇士の頑張りに應へねば男子の面目は丸潰れだ、ウントやらう……』シャベル握る腕にグツと力を籠め灼熱の製油爐に挑んで總蹶起したのは京城府內城東區馬場町大日本理化學研究所工場二百名の青年工員だ、その名も逞しく『增產決死隊』と稱し白襷姿も凛々しく黑鋼の肉體に鞭打つて增產に挺身しようといふのだ、隊長吉田壯所長が『わしも倒れるまで頑張らう、諸君も何も言はずに身心を打込んで貰ひたい』と決意を示せば『我我は決して倒れません、倒れては前線の將兵に申譯ありません、隊長殿も決して頑張りますと誓ひは固い、一日から白襷で颯爽とシャベルを振ふと能率は倍加した、三日古賀本府林產課技師は工場に激勵の視察を行ひ感激の眼をしばたたいて引上げた【寫眞は增產決死隊を激勵する古賀技師】

鍬の戰士に〝勳章〟

輝く紀元節　農民章を制定

【東京電話】食糧增產に挺身する農民は軍需產業戰士と共に決戰日本の大黑柱で政府でも農業要員として一定數は應徵からも考慮してゐるが更にこれら農民に輝かしい光を與へる爲め農民章（假稱）ともいふべき國家的表彰が贈られることになつた、即ち三日の衆議院戰時保險委員會で、山崎常吉氏（翼知）の質問に對し小泉厚相は次のやうに答へた

農業要員及び產業戰士に光明を與へるには精神物質兩面があるが、精神的光明はさておき前線將兵と同じく悠久の大義に生くべく自己を犧牲にして敢闘する人々に對しては感激させられる實例も多い、產業戰士には既に種々の顯功章があるが農民に對しても來る十一日の紀元の佳節を期して國家的褒賞の制度として農民章ともいふべきものを制定することになつてゐる

後輩よ我に續け

學兵が實弟に送る軍隊の眞髓

金子志願兵

學窓から戰列へ起つた半島學徒志願兵は晴れの營門を潛つて早や旬餘、すでに若き五體に熱血を沸らせて苛烈なる戰場を睨む總の訓練は火花を散らせ、一日には板垣軍司令官の激勵視察をうけるなど、世紀の訓練に若人の胸は高鳴つてゐるが、半島學兵がこの崇高なる軍隊生活に接して如何なる感激に胸打たれてゐるであらうか―明倫專門在學から敢然と起つて志願堂々と合格の栄をかち得て前に同僚學兵と共に召されて〇〇部隊に入營した京城鍾路區中學町醫師金子忠恒氏令息勝明志願兵から、この程實弟の京畿中學五年生武明君に入營便りが寄せられたが、その文面には本年半島に光榮輝く徵兵制初の檢査に馳せ參ぜんとしてゐる弟の武明君に皇軍兵營における親身も及ばぬ懇切な指導、その一面崇高このうへない軍紀と嚴たる訓練など、未知の世界に飛びこんでからはじめて體に接し身に感じた兵營訓練の眞髓をその家族に傳へると共に、徵兵初の檢査を控へて〝半島の後輩よ安心して我に續け〟と呼びかけてゐる、以下金子勝明志願兵のその兵營便りである

前略、非常に元氣だ、安心し給へ、兵營生活は國民として一度必ず入營して鍛錬すべきだとつくづく感じてゐる、朝鮮で認識のない人が思ふやうな怖いところではない、殴るとかいふやうなことは中隊長殿から嚴禁されてゐる（中略）しかし訓練は嚴格であるが、これから僕らにつづいて入營する者は絕對安心してやつて來るやう傳へてくれ（後略）

思ふ存分ご奉公

延專の三君から母校へ

猛烈なる寒氣を衝き學兵は父兄や先輩等に送られて去る廿日栄ある國の赤誠を沸らせて輝ける光榮ある營門を潛り米英擊滅に進發したあれから十餘日、いまでは立派な新兵さんとして日夜敢鬪を續けてゐるが、延禧專門學校出身の學兵高山達雄、文平樞植、淸原與雄の三君は三日辛島校長以下諸教授に宛て『無事入營し毎日訓練を受けてゐます、母校の名譽にかけ立派に有難う御座いました、學生時代はお陰樣で無事入營を終へ今訓練を受けてゐます、此の上は一日も早く一線に出られることのみを願つてゐます、御安心下さい、最後に先生の御健康と御精勵とをお祈りします

〇〇部隊　文平　樞植　敬具

謹啓　先生御變りはありませんか、私は元氣でやつてゐます、…

…思ひ出の延禧の森、同日も出されます、戰友達は非常に親切にしてくれまして大いに張切ります、壯る學友達の御指導を良くやつて下さい、且つ軍隊に入れば今迄の樣なぶらくな生活は出來得ないと傳へて下さいでは亦　敬具

〇〇部隊　淸原　與雄

諸先生へ

休閑地を利用

【水原】…郡では現下の食糧の劃期的な增產を圖るため遊休新地を利用すべく郡內各邑面長、各官公署長、各學校長、各團體長に對し、空閑地利用計畫、作物の選定、經營主體、種子の手當等の具體的計畫を樹て二月十五日迄に報告方通牒、これに基き空閑地の利用徹底を期することとなつた

〝嬉しかつたです藝能團〟

再巡の國本伍長、本社に來訪

遺族に温く敎へる洋裁

五年間無缺勤の佐久間さん

はたらく女性 (5)

中部太平洋の島々には昨日も今日もわがはらからの尊い血しぶきがあげられ、一機一機の一騎打ちが物に狂るヤンキーの鼻つぱしらを打碎いてゐる、見よ、千機に近い擊墜の赫々たる綜合戰果を！　戰爭に勝つとは、仕事に打勝つことである、その日その日の職域に全身全靈を打込むことである

啓蟄の日射しに冬眠から醒めてそろそろ這ひ出す昆虫の生態は〃餘裕〃の世界から抹消しなければならない、殊に

婦人の世界　にあつては仕事に沒入し多忙な勤勞の生活の中に溢れる微笑を見出す〃ゆとり〃を持たなければ苛烈な決戰生活を乘り切るとは不可能事に、近い『無の人出でよ』の聲は高い增產と勤勞に廿四時間を埋め盡す人々の　うちにキラリと光る一粒がある

◇

府營軍人援護授產所の洋裁敎師佐久間たつよ女史(四九)がその人である、佐久間さんが授產所の先生になつて六年目が來た、この間に三百餘名の戰死者遺族、出征軍人家族の若い娘さん達や未亡人達が服裝技術者として世に送り出されてゐる、現在五十台のミシン台と

百名の洋裁　生徒を一手に引受けて佐久間さんの頑張りは深い、纖細な女性の感覺で最初は近寄り難い印象を受けた人々も一ケ月も經つとすつかり傾いて『先生、先生』と慕つてくる、百人の生徒は一本の糸に完全につながれてゐる

大正初期宮城縣立女子師範を出て一ケ年を內地で過したが當時月俸十四圓也であつた、翌年渡鮮して平壤商業學校に敎鞭をとつて十九年の歲月は流れた、この間に東京文化服裝學院に學び大阪洋裁女學校にも修業してかねての望み洋裁敎師たるの資格を得たのだ

昭和十四年夏府營軍人援護授產所に奉職した時は生徒は卅人で、ミシンはたつた五台といふ貧弱さだつた、女史の献身的な努力はこの時から始められた、その著しい例は過去五年間

一日も缺勤の　無いことだ、出勤簿が三百六十五日何日も眞ツ赤に埋められてゐる事は所內でも有名で所長の千田府總務部長を驚嘆させた、所長は人に訊かれると

『佐久間さんは一口に言ふと俠氣に富んだ熱情の人だといへるだから生徒が淚がなくて寂しいといへば自分の今日挨く旅は無くとも生徒の宅に屆けてやる親切さがある、そんな風な意氣に感じて生徒はみんな嬉しがつてゐる』

と稱揚する事を忘らない、何處か大きい魂、深い愛の導きが佐久間さんの人格を輝かしてゐるのだ、佐久間女史は謙遜な中にも實踐に磨かれた迫力ある言葉と態度で

『私は洋裁を敎へる事が生活と人生の全部だと信じてゐます、生徒さんも最初の一ケ月はミシンが氣狂ひのやうに熱中しますがこれでよいと思つてゐます、生徒さんも最初の一ケ月はミシンが踏めぬので殘念なやうですが慣れると全く自信をつけてしまひます、何しろ十六歲から五十歲までの婦人を扱ふのですから苦勞も一通りではなく私は我が子のやうに嬉しくて泣けて來ますよ

敎養の程度　にも大きな差があるのでどうやら一人前になつて貰ふには他人事ならぬ心配も多いわけです、一年たちますと婦人服の他に男子のオーバーや國民服の一着も裁へるやうになります』

と訥朴に語る、佐久間さんのやうな熱の人こそ決戰生活の花形なのだ【寫眞＝佐久間女史】

母の愛が闘魂の糧

學兵母姉に心盡しの慰問激勵狀

瀬戸日婦道支部長

暴戾米英必滅の氣魄を胸に秘め、燃える如き闘魂をもつて今や我等の半島學兵は軍服姿も凛々しく日夜軍務に精勵してゐるが、瀬戸道知事夫人瀬戸榮さんは婦人會道支部長の名を以て學徒志願兵の母姉に對し半島學徒が第一線に馳せ參ずるとの出來たのは一家一門の名譽であり、我等は相携へこの決戰に銃後を護り米英必滅に邁進しませう、と三日、次の如き慰問激勵の書翰を送つた

拜啓　大東亞戰爭必勝の希望に輝く昭和十九年の新春に際り務て學徒志願兵として出陣の榮光を荷はれました御子弟には目出度く去る一月二十日を以て目出度大君の御楯として輝く入營を了へられ今や軍服姿も凛々しく日夜軍務に勵められつゝありますことは洵に喜ばしき限りでございまして眞に御本人の面目なるのみならず一家一門の名譽であり且つ半島空前の盛事でございまして心から御祝ひの言葉を申し上げる次第でございます、御承知の通り宿敵米英は開戰以來の引き續く敗戰を挽回せんとして夙に學生を初め婦人をすら動員して死物狂の總反攻を繰り返へしその勢力日に月に熾烈を加へ戰局愈々緊迫化するに伴ひこれに對して必勝態勢を强化し一擧に敵を粉碎せんがため昨年秋まづ內地人學徒に對し出陣の命下りまするや全生徒は時こそ來れりとなし欣び勇んで學園を後に軍營に馳せ參じ滿來敵殲滅を目ざして戰火の錬成に邁進しつゝあるのでございます、此の秋に當りまして等しく國家の恩惠に浴し專門大學に在學中の半島人學徒のみ取殘されることは寔に遺憾不合理であり、且つ學徒としても晏如たり得ない答であります故に、更に半島人學徒に對しても徵兵制實施に先だち時に志願出陣の途を拓かれましたことは全く一視同仁の御聖旨によるものでありまして誠に有難い次第でございます、然しながら此のことは未だ徵兵制實施前の半島としては一般に豫期されなかつたことでもあり、且つ學業半にして兵となるは一見相當爲局度の轉向でもありますから當時聊か進退に迷はれた點もあつたかと思はれますが幸にして皇國臣民たる

滅私奉公　の大義に省み緊迫せる事態を察し毅然として起ち其の響ふところを誤られなかつたことは父兄先輩の力添へにも勝りて母たり姉たる皆樣の慈愛の籠つた而も雄々しき激勵が最後の決斷に大きな力となつたことを思ひます時、自ら頭下り眞に此の母姉にして此の子弟ありとの感を深く致しました、それと同時に私共子を有つ母親として深く感銘を覺ゆるものでございます、併て一旦御召しに應じた以上之を以て家庭の實務を絡れりとなすは誤りであり錬成は寧ろこれからでございまして軍務の餘暇母を慕ひ姉を念ふの　念々切なるものが　あるかと存ぜられますと共に之に對し絕えざる御心盡しの慰安激勵こそ上官の御訓練と相俟つて磨ちて止まぬ闘魂育成に尊い糧をなすものと存ぜられるのでございます、母强ければ國强しと申しますが先日入營の門出に於きまして一人の母親が御別れの際に『今こそ御國に報ゆる時が來た、撃つて米英を殲滅するのだ戰爭に勝つた時其時こそ相抱いて泣かう後のことは心配するな』と激勵し笑顏で見送つたといふことでございますが本當に斯くありたいものと存じます

併し假令何時に於ても致しても更に一層の錬成と共に皆樣も御家庭にては御子弟の爲に充分御安神を願ひたいと存じます我が大日本婦人會は特に軍事援護に關する事業を重視致しまして及ばず乍ら時折の御慰問なり僅な市場の買出しの御手傳ひを初め

農繁期等　に於ける御加勢に至るまで出來得るかぎり最寄分會等に於きまして御世話申上げる積りに致しでをりますから何卒御利用を御願ひ致したいと存じます終りに臨みまして御家族の御健康と御家庭の御繁榮を祝禱し志願兵皆樣の武運長久を御祈り致します

以上意に意を盡しませんが出陣學徒の母姉樣に對し心から御子弟の御入營を祝福致しますと共に微衷を申述べまして御慰問の御言葉に代へる次第でございます

敬具

大日本婦人會京畿道支部
支部長　瀬戸榮

り援護團體におきましてはあらゆる場合に應じて慰安援護の途が講ぜられ且つ民間におきましても將兵の家族を護れといふ叫びは着々と色々の形に於て實施されつゝあるのでございますか

二ヶ所に公設市場

四月末までに店開き

希望は申込め　店舖使用

京城府の發展は近年著しく、殊に敦岩町方面の北部地區、阿峴町方面の西部地區への伸展に目覺ましいものがあり、この方面の住居者は食糧品その他日用品の需要を專ら中央の市街地まで足を運ばねば求められない狀態である、一方これに伴ひ闇賣りの露店商人の跋扈は銃後經濟生活の秩序上からも寒心に堪へないので、この方面の市民から要望されたが、これに應へ京城府で敦岩町、惠化町、北阿峴町三地區の公設日用品市場は着々と進捗し、遲くとも四月末までには開設を見る

勝ち拔く貯蓄戰

七日から奬勵打合會

▲十二日(富川郡廳)富川、江華、金浦、始興參集▲十四日(開豐郡廳)開豐、長湍、坡州、高陽參集▲十六日(水原郡廳)水原、安城、平澤、利川、龍仁、驪州參集▲十八日(道財務部)楊州、抱川、漣川、楊平、加平、麗州參集

寒行で献金

千人針

の町に寒修行の太鼓をうちならしながら去つて行つた【寫眞＝本社を訪れた寒行隊】

日常の生活を

戰ふ愛國班の強化へ

京城府總力課長　西脇權治

戰ふ家庭

この消費者層の組織化―愛國班の强化―はやがて街頭に見うけられてゐる第五列的行列買ひや、交通地獄を倍加する買溜り、價格の闇取引、さては業者側の賣惜しみ、顏賣り、物々交換などをなくさせて家庭生活の合理化と消費規正の强化、更に共同買出、共同炊爨、共同配達へと擴張されてくる。

眞に戰ふ一萬四千有餘の愛國班の强化こそは、十九年度百廿萬府民の戰時生活面の成否をきめる

に卽應して戰ふ生活面の明朗化と團結化をはかることこそ消費者組織たる愛國班に課せられた重大な任務であり、統制に對して協力すべき唯一の道である。

消費者の組織化―愛國班の强化―は內においては個人主義的な消費を抑へて、家庭生活の消費への指導斡旋に絕大な効果をあげると共に外にむかつてはより强固な町會の指導監督に將又配給所の官僚化、或は店舖の獨占に對し、配給面に對してはこれを防止し得ることを信ずるのである。

生活必需物資の配給面の隘路打開は一にかゝつて强靭なる消費者組織―愛國班の强化―にあることを斷言してはばからぬ。

一萬四千有餘の愛國班の組織的強化こそ決勝十九年に課せられた最大緊要事である。

子供の躾

○氏の家庭には八歲と七歲の男の子がゐる、禮儀に躾けがやかましくて、一擧手一投足にかれこれ言つてゐる、だからこの子供達を見ると、あまり利口になりすぎて小さな大人のやうな氣がする。親達はまたこれが自慢なのだからあきれる、子供を躾けることは子供を一足とびに大人にすることではないだらう

ろいろいの炊雜

(一) 漬物雜炊　普通冷飯に五六倍量の水を加へ火にかけ弱火で廿分炊き、刻み漬物(辛味、臭味のある場合は水に浸し鹽拔、臭味拔をして用ふ)は下し際にぶり込みかきまぜ十五六分むらす、鰹干粉、雜魚、削節等を取ませると榮養價がよい

(二) 野菜雜炊　登夏秋冬その季節の野菜を炊き混ぜるもので特別の手數を要しない便利經濟的なものである、野菜の炊き混ぜ方はつきのやうに注意する

(1) 葱及び葉菜類の場合　汁に味を調べ飯を炊き込み半煮え程度の時か又は下し際に小刻みの野菜を混入する

(2) 根菜類の場合　芋、大根、人參、牛蒡等は千切又は薄切として直接調味料に煮込み、軟かになつた時に飯を入れて炊きあげる、なほ干魚、ミール、干蝦等を混入することにより榮養價を高める

(三) 魚介雜炊

(1) 鮮魚　一度鹽茹でにし骨をとりその汁は布巾等で漉し調味して身だけ入れて煮込む

(2) 干魚　(イ)干鰊魚、鰮、身缺鰊、干鱈　充分水に浸して軟かにして小さく切り出汁で軟かになるまで煮込み味をつけ一度引揚げて飯を煮込み下し際に材料を加へる(ロ)干目類、鯣臨湯に浸して小刻みにしつけ汁を利用して煮込み　混ぜ合す(ハ)干鰮(ヌザシ等)一日置いて　身をほごして混入する(ニ)干蝦その　まゝ振りこむ

(3) 生牡蠣、蝦、蜆等　貝類は皮をむいて食べよく切つて鹽茹にし蝦、貝類は鹽茹にして身をとり、飯の炊きあがりに混ぜこむ【國民榮養協會聯盟】

勝チヌク日記

岩本正二

ストーブ灰口の利用

物資不足の折、燃料器具等に不自由を來してをりますが、ストーブの灰口は便利な使ひ方があります

一、テンピの代用　灰口に入る程の有合せの容器に材料を入れ、土から灰がおちますので、蓋をして二、三十分おきますと上、下の熱によりパン、カステラ等美味しく上手に出來上ります

二、燒物代用　お芋、栗は灰の中にそのまゝ入れゝばよい、餠は金網をのせて燒く

三、その他蒸器等冷い物を温かく燒き乏い場合蒸器の代りとしても便利です(京畿道衞生試驗所上田フサ)

煉炭ガスの活用

燃料不足の昨今耳よりな話があります、煉炭ガスを水でこねて乾せば立派な再生品になります、火力も頗く燃料節約にもなります、おまけにその再生品のガスをまたさるに入れて水をかけますと石鹸の代用品になり洗濯にもなつてこいです、皆さんのお家庭でも實行してみて下さい(市內・平松驛生)

府營市場入荷狀況

(二月二日)

▲蔬菜

品名	入荷數量	百匁に小賣値付
大根	四、七一四〆	一一錢
〃	一六、六三四〆	山口產例外値 六五匣 全南產
ほうれん草	二七四〆	一六錢
溫床苗	六五二〆	一九錢
牛蒡	一、一一七〆	一五錢
胡	一一一〆	八錢
茄子	一四〇〆	一〇錢
新菊	三五〆	四二錢

▲果　實

品名	入荷數量	百匁に小賣値付
みかん	五、四二七〆	一四錢
リンゴ	六、三六七〆	二二錢　例外値

家庭問答

問　主人が應召中で遊んで居ては勿體ないと思ひますので、何か仕事はありませんでせうか四歲になる子供がありますが

答　黃金町六丁目の京城軍事援護授產所では眞綿の織物をしてゐます、日時は定つてゐなくて何時でも入所出來ます、製作品によつて收入はきまります、子供があつても託兒所の設備がありますので安心して働く事ができます此の外京城府廳內の兵務係軍事援護相談所に御相談なされば適當な職業を斡旋致します(京城府兵務係知久田)

松炭油增産

【仁川】富川郡では昨年中に確保された資材卅萬圓を以て郡內に設置された窯十六基を總動員して松炭油增產に拍車を加へてゐるが一月廿日現在で目標數量の卅％、四百四十二瓩、木炭二千百十四俵を生產してゐる、當初計畫に比較してその成績は良好とは云へぬがそれが原因は山間部と異り海岸地帶で採取した資材だけに何れも小粒のみで油性分の含有量が僅少であるためである

弘報委員會

港に近く結成

【仁川】必勝不退轉の士氣を旺にして戰時生活を高度化し全能を職域に捧げもつて戰力增强の一途に邁進すべき秋に當りこれが根幹たる時局認識と全府民の須知事項の迅速且强力なる滲透を期するため仁川府聯盟では府內に於ける文人美術、寫眞、演劇、映畫、音樂、紙芝居、漫畫、新聞通信等全文化人を網羅した弘報委員會を組織しこれが目的貫徹のため目下計畫立案中であるが全文化人は擧つて絕大的に協力されることを望んでゐる

產業戰士にお酒

【京砂】第一線の死鬪に報ゐるに增產を以つて職場に殉ずる決戰下敢鬪する重要產業從業員を力づけ慰安するため富川郡と仁川稅務署では相談の結果管內生產酒類を特配酒量制に依つてこれら產業戰士に重點的に配給することになり一月分の特配が既に各種工場、鑛山、土砂事業を進める局面に配給されたが、特に工場產業の中心地たる京砂の各工場では大いに喜ばれてゐる

椰子 (162)

海野十三(作)　村上松次郎(繪)

宇宙艇の竣工 (三)

今や全世界の視聽は機際の一邊士タラセアに集り、そしてアメリカが遂げた宇宙艇の竣工に對し、嵐のやうな賞讚と驚嘆の言葉が沸きあがつた。

しかし有體にいへば、これにはアメリカ側の巧なる宣傳と謀略が火を焚きつけてゐたのである。

すなはち、アメリカ側では、早くからこの日のために用意をしてゐた。殊にアメリカの政治經濟力の實體であるアメリカ・ユダヤ人たちは、その得意とする祕密力を驅つて、あらゆる部面に、この日のことを宣傳するやうに手配してゐた。それは、この事件の實體以上、否それに數倍數十倍する讚美の言葉を、世界各地から喚かせることに成功した。

宣傳力は偉大であり、神祕であり、また狂的病的でもある。全世界の人々は、その魔術にすつかり引懸かつてしまつたのだ。

アメリカ・ユダヤ人が、この宣傳の成功だけによつて摑んだ利潤は、既に何億ドルに達したといはれてゐる。

宣傳が成功するとアメリカの立場が急にめきめきとよくなつた。さきに、際どいところで太平洋戰爭に慘敗を喫つたアメリカが、このやうな機會を覘つてゐたことはいふまでもない。崩壞と疲弊の一途を辿つてゐたアメリカは漸く愁眉を吹きかへし、邪惡の怪獸は、再び牙をむきだし始めたのだ。

アメリカこそ、依然として世界一の大勢力であるーとの呪はしい暗示を、短期のうちに世界人士の腦に植ゑつけ終らうとして、彼はあらゆる謀略と努力とを惜しまなかつた。

文化高きものも低きものも、實力あるものも實力なきものも、遂にこのアメリカの謀略に引懸つて動搖を始めた。萬事アメリカ側の思ふ壺であつた。

大東亞は、比較的冷靜を維持してゐた。とはいへ、やはり大なり小なりの動搖が起つてゐた。

(やはりアメリカといふ國は、物質文明に於ける巨人であつて、再び國力を盛返して來たのではないか)

と、新しい批判が、その領域の人々の間にも交はされるやうになつた。

只、日本の航研が、同じやうなものをもつと以前から計畫してゐることを知つてゐた人達は、一刻も早く日本のそれが、世界の視聽の前に姿を現はすことを願つた。

そのことを祈りもした。

だが、既に遲いといはなければならぬ。たとへ日本のそれが今姿を現はしたとしても、最早アメリカ側の宇宙艇の出現ほどにセンセイションを起さないであらう。それは二番煎じであるからである。

いはんや、わが航研は閉として聲なく、何等の對抗ニュースを發表しないのだ。

それについて、不滿を述べる人人、忠言を上申する人々などが、夥しく現はれるに至つた。しかしわが航研關係側は、相變らず默々のやうに沈默を守つてゐる。

それはやがて、悲觀的な世評をさへ生むに至つた。

實狀を知る者のみ、はつきりそのことの已むを得ないわけを心得てゐた。彼等は、徒に歎息するのみだつた。

ラジオ　4日

第一放送　朝　▲六・三〇(錄)今日のお知らせ▲七・〇〇講演、共榮圈經濟建設の焦點太平洋協會研究部長山田文雄、音樂▲九・四五戰時保育所の時間『フクハウチオニハソト』佐藤絢子外▲一〇・〇〇國民學校放送『六年生の時間』〃翼の兵隊兵〃久留島武彥▲一一・四五職場向體操

晝　▲〇・二〇ハーモニカ合奏川口ハーモニカ樂團、管絃樂1、日本の春2、春の海東洋管絃樂團▲一・三〇保養所の時間『川柳の味ひ方作り方』(五)川上三太郞、俚謠めぐり(四)▲二・四五職場向體操▲四・〇〇國民學校放送『敎師の時間』

夜　▲六・〇〇少國民の時間シン蔭(六)劇『山のふるさと』大阪放送子供會外▲六・三〇短篇劇▲七・〇〇話、冬の放送軽音樂會『大航空の歌』長門美保他、物語『宮本武藏』德川夢聲▲九・〇〇朝鮮だより

第二放送　夜　▲六・五〇國民合唱(錄音)『十億の團結』▲七・二〇節分と行事朝鮮神宮出仕松岡敏雄、放送回覽板、航空讀本『飛行機とは何んなものか』關內曾▲八・〇〇歌謠曲『大地の息子2江南の喇叭手、放送劇『春の小波』軍事解說▲九・〇〇(東)初步國語講座國友富子

民意昂揚の政治